

## クロムブック、日々の持ち帰りをお願いします。

9月4日(土)の夜、緊急のメール配信をしました。翌5日(日)の部活動は公式大会も含めて中止するという連絡です。突然でビックリした人も多かったかもしれません。5日(日)のお昼過ぎ今回は検査対象者がなかった旨の連絡をさせていただきました。ホッとしました。

今回は6日(月)を臨時休校にせずすみませんが、もし休校になっていたとしても、週末でしたので、みなさんはクロムブックを持ち帰っていました。ですから、何とかオンラインでの朝の会や授業に対応できていたと思います。

しかし今後、週末ではない平日の課業日、みなさんの下校後に急遽対応が決定され、突然「明日から臨時休校」と連絡しなければならぬことが起こる可能性があります。その場合は翌日からオンライン学習をすることになる訳ですが、そのためには、「必ず家にクロムブックがある状態」を作っておかなければなりません。ということはクロムブックを毎日持ちかえる必要があるということです。先生方には「学校の授業で可能な限りクロムブックを活用してほしい。」とお願いしていますので、学校には持って来ず、家に置いておくことを基本とするとはしたくありません。しかし、みなさんの負担も可能な限り減らしたいとは思いますが、そこで、先生方には次回の授業の連絡の折、クロムブックが必要かどうかを伝えてもらうことにしました。日直が明日の連絡を書く時、クロムブックのことを記載してください。みなさんには苦勞をおかけすることにはなりますが、現状を理解していただき、何とか協力をしてほしいと思います。よろしくをお願いしますね!!



## ドアが開いていたら、OKですよ。



2学期が始まって1週間、ほぼ毎日10人ぐらいの人が校長室に身長を測りに来ています。

「身長測っていいですか?」とドアからニコッと声をかけてくれるのは、本当に嬉しいです。みなさんの「やったー!伸びた。」「エーっ、変わってへん!」などの声は聞いてとっても楽しいです。

昼休みはグラウンドに食後の運動も兼ねて石拾いに出たりしていることが多いですが、校長室のドアが開いている時は基本的に入室OKですので、来てください。

写真でもわかると思いますが、支柱の固定具合があまり良くなくて、後ろ(壁側)に傾いていますので、支柱にもたれないで、台の上に乗っすぐに立った状態で測ってくださいね。

## パラリンピックが終わりました。

25日の始業式で「機会があれば東京パラリンピックを観てほしい。感じることもあるはずですよ。」と話しました。みなさん、覚えていますか。

全競技が終わり、昨日閉会しました。日本代表は金メダル13個、銀メダル15個、銅メダル23個の合計51個のメダルを獲得したそうです。

今大会の最初のメダルは競泳女子100メートル背泳ぎ(運動機能障害S2)で銀メダルを獲得した山田美幸さんでした。日本選手団最年少の14歳、中学3年生。みなさんと年齢が変わらないですよ。レース後のインタビュー、ものすごく明るい彼女の表情がとても印象に残っています。「無欲は怠惰の基である」ということばが彼女の座右の銘だそうです。「無欲というのは本気でやっていないからだと思う。私だったら『メダルを取りたい』という思いがあって、何事も本気でやって自分の願いに素直に向かっていきたい」と語っています。目標達成のためには貪欲さが必要ってことですね。

私は車椅子ラグビーにはまりました。びっくりするぐらい激しいスポーツです。興味深いのは、車いす競技の中で唯一、タックルが認められている男女混合の競技だということです。

ルールですが、

- ①コートのはしはバスケットボールと同じ。バレーボールを元に開発された専用のボールに松やにをつけて使う。ボールを持った状態で車いすの2つの車輪がトライラインを通過すると得点。得点は1点ずつ、前へのパスも可能。
- ②1チーム12人まで登録でき、試合には4人が出場。交代の人数や回数は制限なし。
- ③選手には障害の程度によって「0.5」から「3.5」まで7段階の持ち点があり、コート上の4人の持ち点が合計で8点を超えてはいけません。女子選手が入る場合は持ち点の上限が女子1人につき「0.5」プラスされる。

こんな感じです。いろんなことを考えてルールが作られているのですね。

女子選手の倉橋香衣さんは高い技術力で銅メダルに貢献しました。

みなさんもパラリンピックで印象に残ったことを上谷に聞かせてくださいね。